

編集後記

アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル (AJJ) 第 8 号は、実践報告 2 編、調査報告 6 編、短信 1 編の計 9 編の掲載となりました。いずれの論考も AJ 研究にふさわしく、読み応えのある内容となっています。これまでの研究を踏まえ、新鮮な切り口からアプローチした論考が数多く見られました。このことはタイトルやキーワードに端的にあらわれています。また、JFL (中国) での AJ 教育と JSL・JNL 教育、AJ 教育と職場での活動、中国における国語 (語文) 教育と AJ 教育といった「つながり」に注目した論考が目立ったのも本号の特徴と言ってよいでしょう。

さらに、印象深かったのがアドバイザーのアドバイス能力です。本誌は査読付き論文集ではありませんが、会員同士のピア・レビューによって質が担保されています。アドバイザー諸氏は、著者である書き手と対等な立場に立ち、各論考がより良いものになるよう真摯な態度で臨んでくださいました。アドバイザーの皆様、誠にありがとうございました。

会員の皆様も、日々の実践や調査の成果を投稿していただき、AJJ の輪に加わっていただけたら幸いです。

(編集委員 N. T. 記)

刊行 : 2016 年 7 月

編集委員* (**は委員長)・アドバイザー (AJG 幹事) 五十音順

石澤徹 (東京外国語大学)・牛窪隆太 (関西学院大学)

江森悦子 (日本国際協力センター)・*大島弥生 (東京海洋大学)

*大野早苗 (順天堂大学)・小笠恵美子 (東海大学)・*影山陽子 (日本女子体育大学)
木下謙朗 (龍谷大学)・佐藤正則 (山野美容芸術短期大学)・清水まさ子 (国際交流基金)

鈴木秀明 (目白大学)・高橋薫 (早稲田大学)・武一美 (早稲田大学)

**田中信之 (富山大学)・*ボイクマン総子 (東京大学)

松本明香 (東京立正短期大学)・宮崎七湖 (新潟県立大学)・村上康代 (関西大学)

茂住和世 (東京情報大学)・吉田美登利 (東京工業大学)